

平成29年2月24日

消費生活用製品の重大製品事故に係る公表について

消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告のあった重大製品事故について、以下のとおり公表します。

○特記事項あり

デスクヒーター、電気ストーブ（カーボンヒーター）に関する事故（リコール対象製品）について

（詳細は次頁以降参照。）

- | | |
|---|----|
| 1. ガス機器・石油機器に関する事故
（うち石油温風暖房機（開放式）2件、
石油ストーブ（半密閉式）1件、カセットボンベ1件） | 4件 |
| 2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因が疑われる事故
（うち電気こたつ（ペット用）1件、
食器洗い乾燥機（ビルトイン式）1件、電気カーペット1件、
電気ストーブ（オイルヒーター）1件、デスクヒーター1件、
電気ストーブ（カーボンヒーター）1件） | 6件 |
| 3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因か否かが特定できていない事故
（うちリチウム電池内蔵充電器1件、電気こんろ1件、
USBケーブル1件、電気ストーブ1件） | 4件 |
| 4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故調査判定合同会議（※）
において、審議を予定している案件
該当案件無し | |

1. ～ 4. の詳細は別紙のとおりです。

※正式名称は「消費者安全調査委員会製品事故情報専門調査会及び消費経済審議会製品安全部会製品事故判定第三者委員会合同会議」という。

5. 留意事項

これらは消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づく報告内容の概要であり、現時点において、調査等により事実関係が確認されたものではなく、事故原因等に関し、消費者庁として評価を行ったものではありません。

本公表内容については、速報段階のものであり、今後の追加情報、事故調査の進展等により、変更又は削除される可能性があります。

6. 特記事項

(1) クレオ工業株式会社が輸入したデスクヒーターについて（管理番号：A201600706）

① 事故事象について

クレオ工業株式会社（法人番号：1080101005518）が輸入したデスクヒーターを使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生しました。

当該事故の原因は、現在、調査中ですが、当該製品の表面生地に衣類等が長時間接触して部分発熱し、温度コントロール用サーモスタットが作動せず、発火に至ったものと考えられます。

② 再発防止策について

同社は、当該製品を含む対象製品（下記③）について、事故の再発防止を図るため、2013年（平成25年）1月15日にウェブサイトへ情報を掲載するとともに、販売先での店内告知及びダイレクトメールの送付により、対象製品について無償交換（製品全面を検知線により温度コントロールする方式に変更し、電源消し忘れ防止装置を付加した対策品に交換）を実施しています。

③ 対象製品：製品名、機種、販売期間、対象台数

製品名	機種	販売期間	対象台数
ピタッとヒーター	NN8920	2011年9月29日 ～ 2012年1月24日	6,825
暖ったかSUNヒーター	NN8920B		

2013年（平成25年）1月15日からリコール（無償交換）を実施
回収率：68.6%（2017年2月23日時点）

<リコール対象製品での事故件数>

当該事故（管理番号：A201600706）発生以前の、対象製品におけるリコール対象の内容による2010年度以降の事故の件数は、次のとおりです。これらは、消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告を受けたものです。

年度	事故件数	被害状況	年度	事故件数	被害状況
2016年度	0	—	2012年度	1	火災
2015年度	0	—	2011年度	0	—
2014年度	0	—	2010年度	—	—
2013年度	0	—			

＜対象製品の的外観及び確認方法＞

当該製品の裏側上部に機種名が記載されています。



ピタッとヒーター (NN8920)

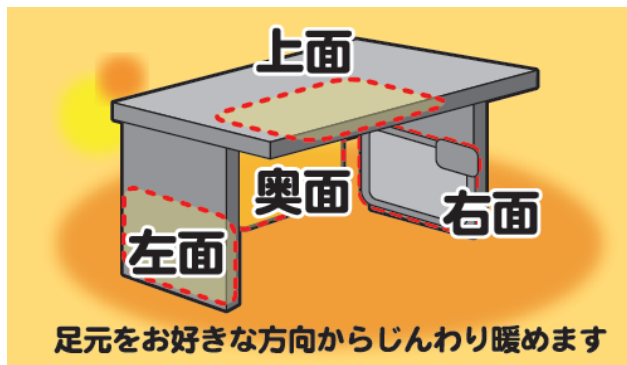


暖ったかSUNヒーター (NN8920B)



※両製品のサイズ：縦35cm×横45cm×高さ3cm

【製品の適切な設置方法】



⑤使用者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ事業者の行う無償交換を受けていない方は、直ちに使用を中止し、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

【問合せ先】

クレオ工業株式会社

電話番号：0120-998-334

受付時間：9時～17時（土・日・祝日を除く。）

ウェブサイト：http://www.kreo.co.jp/nn8920_recall.html

(2) ユアサプライムス株式会社が輸入した電気ストーブ（カーボンヒーター）について
（管理番号：A201600707）

①事件事象について

ユアサプライムス株式会社（法人番号：6010001059673）が輸入した電気ストーブ（カーボンヒーター）を使用中、当該製品を焼損する火災が発生しました。

当該事故の原因は、現在、調査中ですが、当該製品の強弱切替え用に使用されているダイオードが不良品であったことにより、ダイオードが異常発熱し、出火したものと考えられます。

②再発防止策について

同社は、当該製品を含む対象製品（下記③）について、事故の再発防止を図るため、2016年（平成28年）3月19日にウェブサイトへの情報掲載及び新聞社告を行うとともに、同日以降、販売店等への協力要請を行い、対象製品について無償点検及び修理を実施しています。

③対象製品：製品名、型番、販売期間、対象台数

製品名	型番※	販売期間	対象台数
電気ストーブ （カーボンヒーター）	YA-C945SR (WH)	2015年9月29日	18,940
	KYA-C915R (WH)	～	
	YA-C900S (WH)	2016年2月20日	

※YA-C945SR (WH) 及びKYA-C915R (WH) はリモコンタイプ

YA-C900S (WH) はメカタイプ

2016年（平成28年）3月19日からリコール（無償点検・修理）を実施
改修率：26.1%（2017年2月20日時点）

<リコール対象製品での事故件数>

当該事故（管理番号：A201600707）発生以前の、対象製品におけるリコール対象の内容による2010年度以降の事故（原因調査中でリコール同事象と考えられるもの及びリコール事象かどうか不明なもの、並びにリコール開始の契機となった事故を含む。）の件数は、次のとおりです。これらは、消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告を受けたものです。

年度	事故件数	被害状況	年度	事故件数	被害状況
2016年度	4	火災	2012年度	—	—
2015年度	1	火災	2011年度	—	—
2014年度	—	—	2010年度	—	—
2013年度	—	—			

<対象製品の外観及び確認方法>
※本体正面の型番を御確認ください。

リモコンタイプ



型番
YA-C945SR (WH)
KYA-C915R (WH)

いずれかの型番が記載

型番
YA-C900S (WH)

メカタイプ



強弱切替用の
つまみあり

④使用者への注意喚起

対象製品をお持ちの方で、まだ事業者の行う無償点検及び修理を受けていない方は、直ちに使用を中止し、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

【問合せ先】

ユアサプライムス株式会社 修理回収窓口

電話番号：0120-801-798

受付時間：9時～17時30分（土・日・祝日を除く。）

ウェブサイト：<http://www.yuasa-p.co.jp/wp/wp-content/uploads/2016/07/20160319.pdf>

(本発表資料の問合せ先)

消費者庁消費者安全課（製品事故情報担当）

担当：柳川、平野、清重

電話：03-3507-9204（直通）

FAX：03-3507-9290

経済産業省商務流通保安グループ製品安全課製品事故対策室

担当：下出、高橋

電話：03-3501-1707（直通）

FAX：03-3501-2805

1. ガス機器・石油機器に関する事故(製品起因か否かが特定できていない事故を含む。)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生日都道府県	備考
A201600698	平成29年2月1日	平成29年2月20日	石油温風暖房機 (開放式)	FW-3214S	ダイニチ工業株式会社	火災 軽傷1名	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生し、1名が軽傷を負った。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	東京都	
A201600700	平成29年2月6日	平成29年2月20日	石油ストーブ(半密閉式)	SV-V4515M	株式会社コロナ	火災	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	北海道	平成29年2月16日に消費者安全法の重大事故等として公表済
A201600702	平成29年2月10日	平成29年2月20日	石油温風暖房機 (開放式)	FH-iX346BY	株式会社コロナ	火災	当該製品の給油タンクに給油後、当該製品に戻す際に灯油がこぼれ、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	東京都	
A201600709	平成28年12月27日	平成29年2月21日	カセットボンベ	マイ・ボンベL	株式会社ニチネン (輸入事業者)	火災 軽傷2名	当該製品を装着していた他社製のカセットこんろを使用中、当該製品が破裂し、周辺を焼損する火災が発生し、2名が軽傷を負った。当該製品から出火したのか、他の要因も含め、現在、原因を調査中。	岐阜県	事業者が重大製品事故として認識したのは平成29年2月13日

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生日都道府県	備考
A201600697	平成29年2月12日	平成29年2月20日	電気こたつ(ペット用)	08ASQCE	ドギーマンハヤシ株式会社 (輸入事業者)	火災	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	大阪府	平成29年2月23日に消費者安全法の重大事故等として公表済
A201600699	平成29年2月9日	平成29年2月20日	食器洗い乾燥機 (ビルトイン式)	RKW-402A	リンナイ株式会社	火災	当該製品を使用中、当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	大阪府	平成29年2月16日に消費者安全法の重大事故等として公表済

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故(続き)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201600701	平成29年2月3日	平成29年2月20日	電気カーペット	HJ-S272	シャープ株式会社	火災	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	大阪府	製造から25年以上経過した製品
A201600704	平成29年1月28日	平成29年2月21日	電気ストーブ(オイルヒーター)	UN814EPS	ユーレックス株式会社	火災	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	東京都	製造から20年以上経過した製品
A201600706	平成29年1月10日	平成29年2月21日	デスクヒーター	NN8920	クレオ工業株式会社 (輸入事業者)	火災	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 事故の原因は、現在、調査中であるが、当該製品の表面生地に衣類等が長時間接触して部分発熱し、温度コントロール用サーモスタットが作動せず、発火に至ったものと考えられる。	広島県	事業者が重大製品事故として認識したのは平成29年2月14日 平成29年2月16日に消費者安全法の重大事故等として公表済 平成25年1月15日からリコールを実施(特記事項を参照) 回収率:68.6%
A201600707	平成29年1月30日	平成29年2月21日	電気ストーブ(カーボンヒーター)	YA-C945SR	ユアサプライムス株式会社 (輸入事業者)	火災	当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。 事故の原因は、現在、調査中であるが、当該製品の強弱切替え用に使用されているダイオードが不良品であったことにより、ダイオードが異常発熱し、出火したものと考えられる。	埼玉県	平成29年2月16日に消費者安全法の重大事故等として公表済 平成28年3月19日からリコールを実施(特記事項を参照) 改修率:26.1%

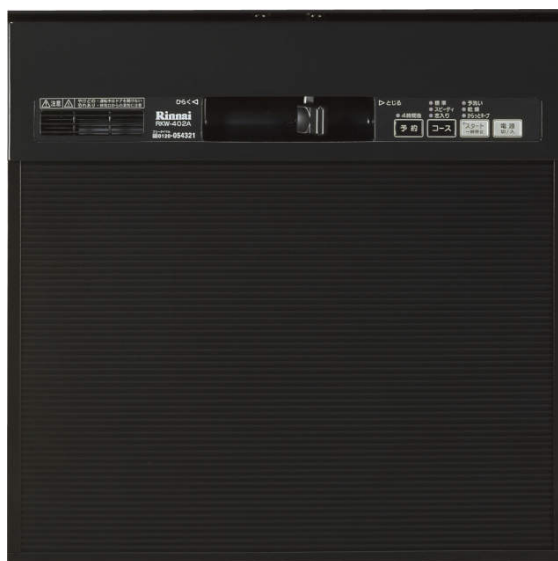
3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201600703	平成29年2月9日	平成29年2月20日	リチウム電池内蔵充電器	火災	車両内で当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品に起因するののか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	秋田県	平成29年2月16日に消費者安全法の重大事故等として公表済
A201600705	平成29年1月	平成29年2月21日	電気こんろ	火災	当該製品を汚損し、周辺を焼損する火災が発生した。事故発生時の状況を含め、現在、原因を調査中。	東京都	事業者が重大製品事故として認識したのは平成29年2月13日
A201600708	平成28年12月12日	平成29年2月21日	USBケーブル	火災	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	静岡県	事業者が重大製品事故として認識したのは平成29年2月15日
A201600710	平成29年2月10日	平成29年2月22日	電気ストーブ	火災	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	兵庫県	製造から50年以上経過した製品 平成29年2月23日に消費者安全法の重大事故等として公表済

4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故調査判定合同会議において審議を予定している案件

該当案件無し

食器洗い乾燥機（ビルトイン式）（管理番号：A201600699）



電気ストーブ（オイルヒーター）（管理番号：A201600704）

